

# 教室の窓から 129 こんにちは

芝山小学校 < 養護教諭 > くぼた えみ 窪田 瑛美先生



- Q ▶ 子どもの頃の思い出**  
**A ▶** 本を読むことが大好きで、たくさん本を読んできました。
- Q ▶ 教員を目指したきっかけ**  
**A ▶** 小学校の時、保健室の先生に憧れて、同じ仕事がしたいと思ったのがきっかけです。
- Q ▶ 児童たちの魅力**  
**A ▶** 明るい笑顔と素直なところが魅力だと思います。友達思いなやさしい児童が多いです。
- Q ▶ 挑戦してみたいこと**  
**A ▶** スノーボードに挑戦してみたいです。

## 好きな言葉

「笑う門には福来る」  
きた

笑顔でいる人には良いことがあるという意味です。笑っていると気持ちまで元気になるような気がするので、いつも意識している好きな言葉です。



- ☆気軽に声を掛けてくれます。
- ☆いつも笑顔で元気！
- ☆けがをしたらすぐに手当てをしてくれます。
- ☆生き物が苦手みたい。

## 教頭先生 EYE

窪田先生は、今年、新しく養護教諭となり、すぐに芝山小に来てくれた先生です。若くて明るい先生ですので、子どもたちにとってはお姉さんのような感覚で話せるのではないかと考えています。普段はともしっかりしています。また、保健室の仕事以外にも、汚れている所の清掃や散らかっている所の整頓など気がつくとすぐに動いてくれて、とても感心をしています。一方で、天然〇〇みたいな時も多々(?)あり、なかなかユニークな先生です。芝山小学校に新しい風を吹き込んでくれる先生として期待しています。

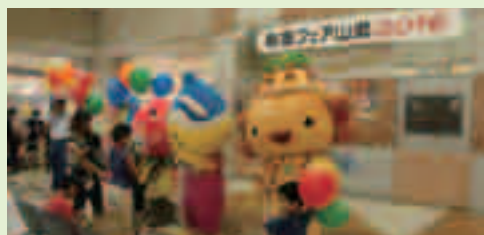


## 9月17日・18日 成田詣



全国からキャラクターが成田山に集結！皆で成田山にお参りをしたよ。またお友達が増えたッコ♪

## 9月4日 救急フェア山武2016



救急フェアっていうイベントに行ったよ。応急処置の勉強やAEDの体験ができて勉強になったッコ！



# 芝山の 祭り

## その五、菱田鹿島神社

### 奉納相撲

菱田中郷地区に鎮座する鹿島神社。ここでは、毎年8月24日に奉納相撲が行われています。今回の「芝山の祭り」では、相撲の様子と地区の皆さんの思いを伝えます。

#### 地区を見守る武神

中郷地区の田んぼに面する小高い丘に、鹿島神社があります。この神社は武神として有名な鹿島神宮を勧請（かんしゅう）（神仏の分身・分霊を他の地に移して祭ること）したもので、地域の古い郡名「武射郡」は、この神を祭ったことが起源ともいわれています。神社境内には立派な土俵があり、ここで150年以上前から五穀豊穰と無病息災を祈念して相撲が行われています。

#### 子ども大人も盛り上がる

奉納相撲は毎年8月24日に行います。奉納相撲を主催する菱田相撲会の役員や来賓がそろって神様に礼拝し、来賓のあいさつと乾杯が終わるといよいよ取組が始まります。初めに行われ

れる相撲は迫力満点。最後の取組で勝利を収めた高校生の菅澤豪人さんは「今回は小学生以来の参加です。高校では柔道部に所属していますが、皆さんに胸を借りて勝たせてもらいました」と謙虚に答えてくれました。

#### 相撲を未来へ

奉納相撲は成田空港建設や少子化など時代の波に負けず、現在まで続けられてきました。

当日相撲に参加していた中学生の山室龍也くんは「小さいときから参加しています。地元出身なので、これからも伝統を継いでいきたいと思っています」と力強く答えてくれました。

【参考文献】芝山町史 民俗編

るのは相撲初参加の幼児が土俵中央に立てられたご幣を倒す「初切り」。これが終わると子どもによる奉納相撲が行われます。体格が同じ位の子ども同士が東西に分かれて相撲を取ると、子ども力士の掛け声や応援する親の歓声が境内に響きます。続いて行われるのは「小三番」です。これは子どもによる3人勝ち抜き戦で、勝つと賞金がもらえます。その後は5人抜き「大三番」が行われていましたが、最近はその数が少ないため、行わなくなりました。子ども取組が終わると、いよいよ大人同士の奉納相撲が始まります。まわしを締めて行わ

るの相撲初参加の幼児が土俵中央に立てられたご幣を倒す「初切り」。これが終わると子どもによる奉納相撲が行われます。体格が同じ位の子ども同士が東西に分かれて相撲を取ると、子ども力士の掛け声や応援する親の歓声が境内に響きます。続いて行われるのは「小三番」です。これは子どもによる3人勝ち抜き戦で、勝つと賞金がもらえます。その後は5人抜き「大三番」が行われていましたが、最近はその数が少ないため、行わなくなりました。子ども取組が終わると、いよいよ大人同士の奉納相撲が始まります。まわしを締めて行わ

るの相撲初参加の幼児が土俵中央に立てられたご幣を倒す「初切り」。これが終わると子どもによる奉納相撲が行われます。体格が同じ位の子ども同士が東西に分かれて相撲を取ると、子ども力士の掛け声や応援する親の歓声が境内に響きます。続いて行われるのは「小三番」です。これは子どもによる3人勝ち抜き戦で、勝つと賞金がもらえます。その後は5人抜き「大三番」が行われていましたが、最近はその数が少ないため、行わなくなりました。子ども取組が終わると、いよいよ大人同士の奉納相撲が始まります。まわしを締めて行わ



菱田相撲会 責任者  
小川 諭 さん

苦勞している点は、後継者の育成です。また空港機能強化の件で中郷地区が仮に移転となった場合、どのように奉納相撲を続けていくのか考えなければなりません。さまざまな問題はありますが、先祖代々この地で続いてきた伝統ある相撲ですのでこれからも続けていけるよう、頑張っていきたいと思います。